

BIM/CIM 推進委員会（第 16 回）

議 事 要 旨

1. 開催日時：令和 8 年 7 月 7 日（火） 15 時 00 分～17 時 00 分
2. 場 所：一般財団法人日本建設情報総合センター ※Web 併用
3. 議 事：
 - ① BIM/CIM の進め方について
 - ② 建築分野における検討 WG（建築 BIM 推進会議）の活動状況について
 - ③ 港湾分野の活動状況について
 - ④ 今年度の進め方について

主な議論の概要は以下のとおり

（議事 1：BIM/CIM の進め方について）

- プロジェクト CDE など様々なテーマが相互に関連し、BIM/CIM の全体像が複雑化している。
BIM/CIM の現在の取り組みやロードマップの全体像を誰でも理解できるよう、何本のプロジェクトがあり、各々どのように進行しているか、を把握したい。箇条書きなどで分かりやすく整理するとよい。
- 「プロセス間のデータ連携のための課題と対応方針」に関して、設計から施工へのデータ連携・継承では、3次元モデルに加え設計の履歴などを含めていく必要がある。また、情報モデルへ、どのような情報を包含して連携していくべきか、検討してほしい。
- AI を活用したデータ連携・自動化技術に関して、AI が出した結果の妥当性評価が課題になる。信頼できる結果が AI から得られるよう、どのように評価していくのか検討してほしい。
- パラメトリック設計標準について、形状的なパラメータだけでなく、より上位の次元のパラメータ化を検討し、性能規定などを踏まえたものにするとよい。
- 「詳細設計段階の 3次元モデル」が「現場で実際に施工する際の 3次元モデル」として有効に活用されにくい理由は、公共工事は設計・施工分離発注であることから、二次製品の指定や機械設備の決定時期の違いなどにより異なる可能性があることが理由の一つであると考えられる。
- BIM/CIM においては、施工の自動化や機械化を考えると、必ずしもコンクリートボリューム等を最小とすることが最適な設計ではないと考える。BIM/CIM を契機に、「モジュラーコンストラクション」を志向して規格化・標準化していくよう検討してほしい。
- 中小の土木構造物において、モジュラーコンストラクションとして標準オブジェクトを配置

することが可能であれば、BIM/CIM に適した分野と考える。そのような議論は進んでいるのか。

○ロードマップについて、試行的に実施する項目と標準化する項目が混在しているため、整理した方がよい。そのうえで、仕事の仕方がどう変わるのか、目指す状態を明確に表現するとよい。標準化する項目については予算を確保して前倒しする等、進め方を工夫してほしい。

○生産性向上のために施工者が設計段階の3次元モデルを変更し、モジュール化の提案を行う場合は、IPD方式(Integrated Project Delivery)やECI方式(Early Contractor Involvement)といった、施工者が設計に関与できる発注方式を検討する必要がある。

○3次元で設計したメリットを享受するため、3次元で構造計算、数値解析、チェックができるようにするための仕組み、基準を検討する必要がある。

○パラメトリック設計標準（構造計算連携）の実現により、将来的に2次元図面がなくなる世界を想定しているのか。あるいは、3次元モデルを作成してから2次元図面に戻して構造計算を行うことを想定しているのか、等の整理が大事である。

○BIM/CIM 活用におけるデータ連携や機械判読などの課題が、ロードマップに沿って取り組みを進めることで、解決されるストーリーが見えるように、課題とロードマップの対応関係を明確にするとよい。

○BIM/CIM 活用の効果を現場に伝えなければいけない。そのためにも毎年、アンケートによる効果のモニタリング・計測を行い、経時変化が分かるようにしてほしい。

○「受注者が捉える BIM/CIM 活用の効果（受注者アンケート）」で「デメリットと感じる場面」に、「人材育成の費用・時間等が負担となっている」とする回答が2番目に多い。BIM/CIM の人材育成に対する施策もロードマップに位置付けて取り組む必要がある。

（議事2：建築分野における検討WG（建築BIM推進会議）の活動状況について）

○建築の維持管理（オペレーション）において、設備やロボット等のBACS (Building Automation and Control Systems) とBIMとの今後の連携については検討しているか。

（議事3：港湾分野の活動状況について）

○港湾分野独自のBIM/CIMの工夫や港湾らしい情報モデルの取得・運用を推進していただきたい。港湾ガイドラインには、砂防のような独自の案件はないのか、あれば、港湾独自のガイドラインがあるとよい。

○CDE という表現があるが、港湾整備 BIM/CIM クラウドシステムは、ISO19650 で規定される機能を備えているか。主として受発注者間の情報共有のためのプラットフォームという理解でよいか。また、維持管理との連携や機能追加を考えているか。

(議事 4 : 今年度の進め方について)

○BIM/CIM 推進委員会の役割は「建設生産プロセス全体へのデジタルデータの利活用の推進及び普及に関する目標や方針の検討、具体的な方策の意思決定」である。BIM/CIM 本来の目的であるフロントローディングやコンカレントエンジニアリングを実現するためには、設計段階から施工者が関与できる発注方式等について、再度検討する必要がある。

以 上